

白蘭



白蘭小学校 学校便り
第13号
令和2年3月24日(火)

- | | |
|----------|---------|
| 【学校教育目標】 | 【資質・能力】 |
| ○深く学ぶ子 | ☆言語能力 |
| ○心豊かな子 | ☆他者意識 |
| ○健康な子 | ☆健康力 |
| ○未来をつくる子 | ☆粘り強さ |

その時、自分ができる最善をつくせ～4つの資質・能力を礎に

室蘭市立白蘭小学校 校長

新型コロナウイルス感染症に対するため、北海道、日本のみならず、世界的な規模で、様々な対応が取られている中、本校でも3月20日(金)に卒業式が行われました。

担任の先生が最後の話をする学級活動の時間を少しでも多く取るため、校長の一言は30秒以内とし、できるだけ卒業式をコンパクトにしました。その言葉を考えていたとき、当日の朝、昨年6年生が行った学芸会 劇「釜石の奇跡」の台詞がよみがえってきました。それは、「その時、自分ができる最善をつくせ。」というもので、東日本大震災の時の岩手県釜石市の中学生の合い言葉です。

今、学校は分散登校があったものの、長い間、通常の教育活動を行うことができないという誰も想定していなかった状況となっています。しかし、そんな中でも6年生は、「学習をしっかりとやっていた。」「筋トレや素振りをしていました。」等と、中学校に向けて今、できることを積み重ねていました。私は、この前向きな姿勢に心をうたれ、この言葉を短い贈る言葉に入れさせてもらいました。6年生の皆さん、そしてご家族の皆様、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、4月には、開校3年目を迎える本校ですが、子ども・家庭・地域・関係機関・学校が一体となって子どもたちを育むベクトルをそろえるため、様々な取組をしてきました。その結果、今、育成を目指す「4つの資質・能力」にたどりつきました。このことについては、学校評価アンケートにおいて、子どもたちや家庭からもご意見をいただきました。1～6年生までが4つの資質・能力について、「自分が成長したところ」について、1年間を振り返りました。この振り返りについては、私からも短いコメントを記入して返却しているのでご覧ください。また、保護者の皆様アンケートからは、「めざすべき方向としてバランスがよい。」という意見や「学校だけでなく、家庭や学校外の活動(習い事やスポーツ少年団等)を通して伸ばしていくものだと思います。」というような幅広い視点からの意見もいただいています。

今、本校には、子どもたちの成長のため、一体となった活動ができる礎が築かれました。開校からの2年間は短いようですが、2度の卒業生の未来をつくろうとする力が、それを具現化しています。これからの白蘭小学校の発展と子どもたちの健やかな成長のため、今後も、保護者・地域・関係機関の皆様白蘭小学校へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

